

## 救命救急法講習会

愛媛大学教育学部附属小学校  
PTA 会長 川崎 慎一  
家庭教育部

令和8年6月17日(水)に附属小学校体育館にて日本赤十字社の救急法指導員の方をお迎えし、救命救急法講習会を開催しました。

講習では訓練用人形を使い、心肺蘇生法や AED の使い方、胸骨圧迫の正しい位置や力加減などを実践的に学びました。参加者は万一の事態に備えようと、真剣な表情で実技に取り組みました。また、のどに異物が詰まったときの対処法や、熱中症予防についてもご指導いただき、大変有意義な時間となりました。



### 《参加者からのご意見・ご感想》

- 万が一の時に行動できるよう、家族とも内容を共有したいです。
- AED の使い方が丁寧に学べました。定期的な受講の必要性を感じました。
- のどに詰まらせたときの対処法も学べて良かったです。また、受講したいです。
- 自分から勉強しようとは、なかなかならないのでいい機会になりました。
- 毎年受けることで、様々な情報をアップデートできてよい機会となりました。
- 消防署などの救急救命講習会などに参加したことはありましたが、今回の講習会はより丁寧でこまやかな視点から多くの学びを得ました。万が一、起こってしまった場合、どのような注意が必要か再認識できました。
- 繰り返し学ぶことが大切という意味がよくわかりました。
- もしものとき、受講したことを思い出しながら動きたいと思いました。



### 【家庭教育部より】

緊急時には、完璧にできることよりも「まずは、行動すること」がなにより大切です。いざという時に大切な命を守る力につながれば幸いです。ためらわず手が動くように「勇気とスキル」を身につけましょう

講習会は毎年6月に開催しています。また、附属小学校には体育館前と保健室前の計2台 AED が設置されています。いざという時のために場所を確認しておきましょう。次年度もたくさんの保護者の方のご参加をお待ちしています。